

2014年鎌倉市議会 6月定例会 一般質問(6月16日)抜粋

◆6番(保坂令子議員) 今、一つ例を挙げて伺ったわけですが、システムの導入とか更新する時期に情報システム審査会がかかわるということはわかりました。それ以外に情報システム全体をチェックする仕組みというものはあるのでしょうか。

◎比留間彰 経営企画部長 情報システム審査会以外のチェック機関といたしましては、行政情報化の方針に関する事項などを審議いたします情報化推進会議がございます。特に重要なシステムの方針を確認するとともに、定期的に情報システム審査会の動向についても報告することといたしております。情報化推進会議は、副市長を会長といたしまして、情報システム審査会に先立って審議を行うもので、これまでホストコンピューターの本庁舎への移設ですとか、共通番号制度の導入に向けた住基システムの個別化についての審議などを行ってまいりました。

◆6番(保坂令子議員) では、その情報化推進会議のトップである瀧澤副市長に、情報化推進会議が果たしている役割について伺いたいと思います。

◎瀧澤由人 副市長 ただいま経営企画部長が答弁しましたとおり、議員御懸念の情報化に伴うシステム経費は不可欠な経費になっています。それを最適化して、より効率的に生かすための仕組みとしての、会議の中で論点というような、少し大きな視点で捉えていますので、例示で挙げましたホストコンピューターからの転換というのは、当時ホストコンピューターには税務と国保と住基が入っていました。その負担が非常に年々増加をしていましたので、例えばそれを組みかえると、個別システムに移行すると、そういう方針決定を会議の中で決めたということになっています。

◆6番(保坂令子議員) コストとしての最適化というもののプラスその技術面、そのシステムの中身の上でもやっぱり最適化というのを図って、重複しないようにもっていく必要がある。そして鎌倉市にふさわしいシステムの体系ということで目指して欲しいということで、今、質問をしているわけですが、情報システムの審査会があり、全体、大きな動きを決定するものとして情報化推進会議もありますということですが、システム審査について、システム関連の専門家などの外部のアドバイザーを利用するという、そういうお考えはないのでしょうか。

◎比留間彰 経営企画部長 情報システムの審査は、システム的な内容ですとか、情報セキュリティについては情報推進課が事前調査を行いまして、情報システム審査会では、システム面に加えて、市の業務内容の効率化ですとか、費用対効果といった視点からの審

議を行うため、業務内容に精通した者が審議を行う体制をとっております。このようなことから、現時点では、システム審査において**外部のアドバイザーを入れなくとも、現行の体制で十分に機能しているもの**と考えておるところでございます。

- ◆6番(保坂令子議員) 個々の業務についてはそれに携わる原課が一番熟知しているということはわかります。しかし、調達コストや技術の水準などについては外部の目で見てもらう、外部の目というのは情報システムを受注している企業と結びついている人材ではなくて、**独立系のコンサルタントなどに見てもらおうということ**ですけれども、**そうした助言体制をつくっていく**ということは**必要**ではないかと考えます。

.....(中略).....

- ◆6番(保坂令子議員) システムのライフサイクルの中で事後評価というのは大切だと思いますので、ちょっと現状では不十分なところもあると認識しまして、改善を求めたいと思います。

続いて、**セキュリティー対策**について伺います。平成 26 年度に予算化されている情報システム 75 件のうち、19 件が**クラウドコンピューティングシステム**によるものです。コストの削減が期待され、また、総務省も自治体クラウド推進を掲げています。しかし、委ねることが効率的な分野と、**リスクマネジメント上、適当ではない分野**があります。情報を取り扱うプロセス、システム、ネットワークという情報資産を自組織の外部に置くクラウドサービスの利用に固有のセキュリティー問題はないのでしょうか。どのような配慮を行っているのか、伺います。

- ◎比留間彰 経営企画部長 クラウドコンピューティングの構築に際しましては、まず第一に、より安全な接続が提供されている**官公庁専用のネットワーク、LGWAN**の利用について検討しております。また、相手先のサーバーの地震・防災対策、不正アクセス対策、ハードウェアの二重化やデータのバックアップなど、どのような**セキュリティー対策**がなされているかも十分確認をするようにしております。さらに、運用面では、業務課のパソコンのID、パスワードの管理の徹底、**情報セキュリティーポリシーに準じたシステム実施手順書**の作成及びその遵守などに取り組んでおります。

- ◆6番(保坂令子議員) クラウドコンピューティングについては、リスクマネジメント上、**適当でない分野**をしっかりと押さえておいてほしいと要望いたします。

続いて、**共通番号制**の関連で伺いたいと思います。平成 27 年 10 月には個人番号の通知、翌年 1 月には個人番号の利用開始が予定されている**共通番号制度**の導入に向けてはどうでしょうか。多くの国が番号制度を導入していますけれども、アメリカ、カナダ、韓国などでは制度を悪用したなりすまし犯罪が**社会問題**となっています。共通番号制度のもとで行政機関が管理する個人情報**は 93 項目もある**とのこと。国の直轄システムでのセキュリテ

ィーの確保と、自治体システムの整備・運営におけるセキュリティの確保と、両面あります。鎌倉市ではセキュリティ対策はどのように進んでいるのか、伺います。

◎比留間彰 経営企画部長 個人番号制度導入に係りますセキュリティ確保策としましては、システム面におきましては、一つ目として個人情報の分散管理を行う、こういったことですとか、二つ目といたしまして、情報連携で個人番号を直接用いないようにしたこと。三つ目といたしまして、個人情報及び通信の暗号化をしたことなどが上げられます。また、制度面では、特定個人情報保護評価の実施ですとか、情報漏えいにかかわる罰則の強化などを講ずるようにしております。

◆6番(保坂令子議員) 国からこういう形でセキュリティ対策を図れというような指示が出ていると思いますけれども、鎌倉市も自治体自身の問題として取り組んでいただきたいと思っております。共通番号制度については、関連システムの導入、更新が補正予算に上がっていますので、今回はこのあたりにとどめておきたいと思いますが、今後とも折に触れて取り上げていくつもりでおります。

鎌倉市は情報セキュリティ対策の指針として**セキュリティポリシー**を平成16年12月に定めて、ホームページでも公表しています。しかし、これは一般的な基準を定めたもので、**個別の情報システムについては、運用している各課において情報セキュリティ実施手順を策定**しております。この情報セキュリティ実施手順は、公にすることにより行政運用に重大な支障を及ぼすおそれがあるとして、非公開です。非公開自体に異議を唱えるものではありませんが、要するに、情報セキュリティポリシー、情報セキュリティ実施手順を定めてセキュリティ対策をとっていますと言われたら、そうですかとしか言えない状況です。

セキュリティについてのタームの一つに機密性ということがあります。自治体の情報の機密性に揺らぎが生じるような新規のICTの使われ方やシステムが次々と生まれている昨今の情勢、そして共通番号制の導入が間近に迫っているという状況を踏まえて、セキュリティ対策をおろそかにしないよう強く要望いたします。